

# 新型インフルエンザ流行始まる！！

いよいよ新型インフルエンザの流行が始まりました。  
当初の予想を上回る早さで流行が進行しています。  
もともとインフルエンザは、乾燥している状況を好みますので夏場の流行はなかったのです。  
その夏場にこれほどの流行が起こるのは予想外でした。  
報道では、新型に対する免疫がないため流行してしまうのではないかとされています。  
しかしこれだけではなく新型は感染性も高いのではないかと私は考えています。  
幸い当初報道されていたより致死率は低いと判断されております。しかしそれでも0.5%とも  
報道されていますので、季節性インフルエンザよりは高いですから怖いですね。  
それと今回の新型インフルエンザの特徴として、若い人への感染が多い事が上げられています。  
しかし重症化している年齢層は、乳幼児と高齢者に多いとされています。  
さらに妊婦さんや何らかの基礎疾患（糖尿病、喘息・肺気腫などの慢性呼吸器疾患、透析中、  
免疫抑制状態など）がある方々に特に危険性が高いと報告されています。海外の報告では肥満も  
リスクとされていますが、欧米の肥満は日本人とは比較にならないほどすごいので日本には  
当てはまらないような気がします油断はできませんね。  
小さいお子さんや妊婦さん、基礎疾患をもたれている方、高齢の方は十二分に注意してください。

現時点ではワクチンはありません。当初、国はもう少し多くのワクチンを確保できる  
予定だったそうですが、様々な理由（ワクチン製造が思ったほど上手く行かなかった。  
海外からの購入が難しそう）で、かなり数が少なくなりそうです。  
国も製造業者も一生懸命やってくれているとは思いますが、インフルエンザの想像を超える  
スピードに対応が間に合っていないのが現状ではないでしょうか。  
ワクチンも早くて10月に出てくるようですが、現在、国ではワクチン接種をどのように行うか  
意見交換会が始まっています。少ないワクチンを誰に優先的に配分するかの会議です。  
まだ結論は出ていませんが、今後ワクチンが出回っても統制下の使用になるでしょう。  
打ちたい人が打てる状況は望めません。

多分、アメリカ疾病対策センター（CDC）の方針と同じで、感染しやすく重症化しやすい小児と妊婦さんが優先  
されると思います。成人には回ってこない可能性が高いのではないのでしょうか。現時点では成人はワクチンでの  
予防は期待できません。

NO.3

わかまつ  
呼吸器内科

2009年8月24日

- 1) 人ごみには行かない。
- 2) 手洗い、うがいを徹底する。
- 3) 病気のある方はその管理に十分注意する。
- 4) マスクの着用

咳が出る人がマスクを付けるのは絶対必要です。

(ウイルスをまき散らさないため)

自身の予防効果は賛否ありますがやらないよりましと思います。



上記を徹底してください。

新型インフルエンザの症状は、今までの季節性インフルエンザとなんら変わりません。

基礎疾患のない成人の方々は重症化する可能性はかなり低いので過度に心配する必要はないのですが、他の方に移してしまう可能性も考え予防を御願いたします。

これから冬に向けて医療機関はパニック状態になると思われます。病院は満床になり具合が悪くても入院できなくなります。限りある医療資源がパンクすると思えます。

その時に、自分とその家族が悲劇を見ないためにも今年だけは少し過剰な予防体制をとっても良いのではないのでしょうか。特に小さいお子さんや妊婦さんのいる家庭、基礎疾患を持つ方々はできるだけ出かけないのが一番です。妊婦さんは病院へ行く時は気をつけてくださいね。

治療ですが、幸い治療薬はワクチンに比べると余力があるようです。そして効果も期待できるようです。

治療薬は

タミフル：飲み薬です。

リレンザ：吸入薬です。

上記の2剤が使用可能となっています。報道では、薬剤への耐性も報道されていますがこの2剤でがんばるしかありません（それでもなかった頃に比べればとってありがたいです）。

私としては、吸入のできる成人はリレンザ、吸入できない子供はタミフルを使用してゆく予定です。

熱が出てから48時間以内の使用が勧められています。急に咽頭痛、関節痛、高熱などが出たら早めに近くの医療機関にご相談ください。

抗インフルエンザ薬については、昨年に異常行動が出る可能性が指摘されだいたい問題になりました。

ただし現在の状況では使用せざるを得ないと思えます（嫌な人には処方できませんが）。この異常行動は薬のせいなのかインフルエンザのせいなのか結論は出ていません。くれぐれもインフルエンザの患者さんから目を離さないようにしてください。

当院でも、発熱のある患者さんを精一杯診療してゆくつもりです。

感染を最小限に抑える目的から、他の病気の方々と時間帯を分けさせていただきます。

午前 11時30分～

午後 17時30分～

上記の時間を感染症疑いの患者さんの診療時間にしたいと思います。

もし皆さんが熱を出してしまった時はまず電話を頂き、  
上記の時間に来院していただくようお願いいたします。  
感染が疑われる患者さんは、お待ちいただく場所も  
奥の座席にさせていただきますのでご了解ください。  
また、他の病気で受診中の患者さんはこの時間には来院  
されないようにしてください。

とりとめのない話しになってしまいましたが、皆様の健康を守る情報の一つにいただければ幸いです。  
ただし、今までの話しは私の考えを記載しているだけですのでご了解ください。  
何かご質問などありましたらお声がけ下さい。

それではみなさん無事に乗り切りましょう！

わかまつ呼吸器内科クリニック 若松 俊秀



VOL. 3  
わかまつ呼吸器内科  
クリニック

2009年8月24日